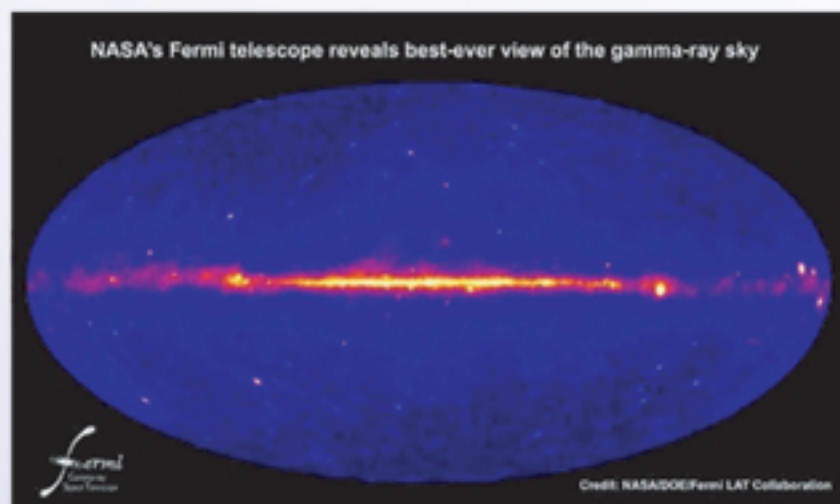


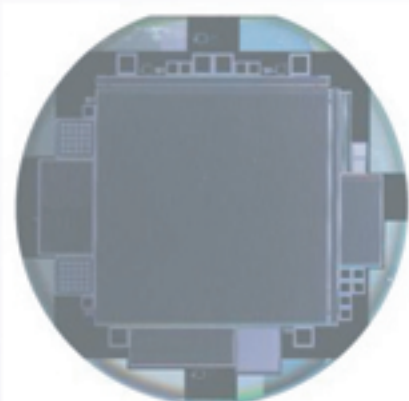
フェルミガンマ線宇宙望遠鏡衛星



ガンマ線宇宙望遠鏡「フェルミ」 の開発と宇宙観測研究



ガンマ線天体全天マップ



広島大学開発 マイクロ・ストリップ検出器
(ガンマ線宇宙望遠鏡に約1万枚使用)

NASA が 2008 年 6 月にケープカナベラルから打ち上げた「宇宙ガンマ線観測衛星：フェルミ」は、ほぼ完璧に作動し、毎日観測を継続して種々の新天体発見や新しい知見をもたらしています。この観測衛星開発には広島大学が大きな貢献をしています。観測衛星開発の数々のエピソードを広島大学の貢献部分を中心にして紹介します。またこの観測衛星がどのような宇宙の事象を解き明かそうとしているか解説します。

【実施日時】 2011 年 4 月 22 日 (金)
17:30~19:00

【講師】 おおすぎ たかし
大杉 節
(宇宙科学センター 特任教授)



【会場】 東広島キャンパス
教育学研究科 L104 講義室 (総合博物館となり)
※新しくなった宇宙展示のギャラリートークも併せて行います。
※5 研究科共同セミナーの認定講演会になります。

申込不要・入場無料

どなたでも聴講できます。お気軽にご参加下さい。

